

令和4年度一般会計予算、令和4年度特別会計予算及び令和4年度政府関係
機関予算につき撤回のうえ編成替えを求めるの動議提案理由説明

令和4年2月21日

国民民主党・無所属クラブ

古川 元久

私は、国民民主党・無所属クラブを代表し、ただいま議題となりました政府提案の令和4年度予算3案を撤回のうえ編成替えを求めるの動議に関して、その趣旨を御説明いたします。

まずは編成替えを求める理由を申し述べます。

新型コロナウイルス感染症の影響で世界経済は大きく落ち込みましたが、欧米では防疫と経済活動の両立が進み、経済回復を続けています。しかし、日本は欧米と比べ緩やかな回復にとどまっています。

その原因の一つは足下の経済対策が不十分なことです。ガソリン・軽油価格が高騰し、国民生活は大きな影響を受けているにもかかわらず、政府のガソリン価格対策はあまりにも少額すぎます。また、広く国民生活を下支えする対策がないに等しい状況です。

経済回復が緩やかなもう一つの原因、というよりも主因は、日本が長年、教育・科学技術投資を抑制してきたため、国力が低下し続け、長期低迷に陥ってきたことです。長期にわたり停滞するわが国経済を動かすには、経済政策を「積極財政」に転換し、「人づくり」に積極的に投資して「給料が上がる経済」を実現しなければなりません。

よって、国民民主党・無所属クラブは、我が国の構造的な問題、コロナ禍に

よる経済の疲弊、ガソリン価格高騰等に対処し真に国民生活を支える内容に、令和4年度予算を変えるため、予算の編成替え動議を提案いたします。

次に編成替えの概要をご説明致します。

第一に、賃上げ税制の見直しを実施します。国民民主党は既に税制改正法案を提出しましたが、賃上げ税制の対象を赤字企業・事業者に拡大します。

第二に、教育国債を発行し、教育・科学技術予算を倍増します。教育国債発行により財源を確保し、教育など人づくりのための予算及びデジタル化・カーボンニュートラルを柱として科学技術関係予算を倍増します。

第三に、国の負担により、当分の間の措置として消費税率を現行の10%から5%へ引き下げます。

第四に、ガソリン・軽油の大幅な値下げを実現します。実現のためにガソリン・軽油のトリガー条項の凍結を解除し、ガソリン価格が3か月連続で160円を超えたらガソリン税を1リットル当たり25.1円、軽油引取税を1リットル当たり17.1円減税する仕組みを復活させます。

第五に、新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン、経口薬、中和抗体薬のいわゆる三種の神器確保に予算を充てます。

また、税・社会保険料・公的融資に関する減免措置継続に予算を充てます。

第六に、職業訓練受講給付金の支給要件緩和を実施します。求職者の生活保障、セーフティネットを拡充することによって、円滑な労働移動を促し、賃金上昇につなげていきます。

以上が国民民主党・無所属クラブの編成替え案の概要であります。委員の皆様におかれましては、真に国民生活を支える本動議に賛成していただくこ

とをお願いして、提案理由説明といたします。

以上